

# 令和7年度 授業改善推進プラン（6年）

台東区立金曾木小学校

教科	観点 課題と思われる観点に○	児童の実態及び課題	授業改善に向けての具体的な 方策	方策に対する検証
国語	知識及び技能	言語	<ul style="list-style-type: none"> <li>辞書の活用については、単なる調べ学習にとどまらず、「逆引き辞書」の活用など、言葉を予測しながら調べる方法を導入し、語彙力を高める。</li> <li>話す・聞く力の育成のため、話す内容のポイントやルールを明確に示し、それを確認できるチェックシートを用いて学びを可視化する。さらに、ペアや小グループでの発表の機会を増やし、児童が自信を持って表現できる場を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークテストにおいて、知識・技能の正答率が 90%以上を 8 割以上の児童が達成する。</li> <li>話す・聞く活動に関しては、チェックシートを活用して児童同士でフィードバックを行い、ルールやポイントを適切に取り入れられているかを評価する。</li> </ul>
		言葉		
	思考力・判断力・表現力	話・聞		
		書く		
		読む		
	学びに向かう力、人間性等			
社会	知識及び技能		<ul style="list-style-type: none"> <li>めあてや単元の学習問題、資料を確認し、学習の流れやポイントを確認後、自力解決の時間を 25 分程度設定する。</li> <li>児童の実態に合わせた動画や追加の資料を用い、情報の活用ができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークテストで知識・技能の正答率 90%以上を 8 割の児童が達成する。</li> <li>単元末ワークテストで思考・判断・表現の正答率 90%以上を 7 割の児童が達成する。</li> </ul>
	思考力・判断力・表現力			
	学びに向かう力、人間性等			
算数	知識及び技能	数・計	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の考え方を集団で共有する時間を十分に設ける。また、式だけではなく、数直線や図、表などを取り入れた児童を意図的に取り上げ、考えを深められるようにする。</li> <li>月に一度の既習事項確認テストを行ったり、週 1 回の朝学習で東京ベーシックドリル、e ライブラリを活用したりして、既習の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計算過程や公式について言葉や図で説明できる児童が 8 割以上を目指す。</li> <li>単元末ワークテストで正答率 90%以上を 8 割の児童が達成する。</li> </ul>
		図形		
		変・関		
		デ活		
	思考力・判断力・表現力	数・計		
		図形		
		変・関		
	学びに向かう力、人間性等	デ活		
理科	知識及び技能		<ul style="list-style-type: none"> <li>事象提示はなるべく具体物を用意する。また、理科の見方・考え方を働かせることができるよう（・問題→予想→実験→結果→考察→結論の学習の流れで行う）事象や発問を工夫し、自力解決の場面を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元末ワークテストで知識・技能の正答率 60%未満の児童を 10%以内ににする。</li> <li>単元末ワークテストで思考・判断・表現の正答率 60%未満の児童を 10%以内ににする。</li> <li>7 割の児童が、考察、結論の流れでノートに記述することができるようにする。</li> </ul>
	思考力・判断力・表現力			
	学びに向かう力、人間性等			